

## OPINION

中部経済新聞

新型コロナウイルスのまん延が過去の記憶となりつつある今、世界はコロナの後遺症に対処するため、さらなる課題に直面している。政府だけでなく各種の組織レベルで、今後のリーダーシップは危機や混乱に対応することに関わ

てくるという見方が強まっている。先進国では全般的に、景気刺激策によってコロナ禍からの回復が進んでいたが、逆にインフレが重要な課題として浮上してきた。サプライ

ナビゲーター



95

14年におよぶ保守党政権に終止符

七二

新興市場や発展途上国では、一般的により厳しい現実

政選挙に直面する主要国の政策転換を巡る不確実性をはらんでいる。アの英國金融システムへのアクセスを制限した。

スタグフレーリングが起きる可能性について懸念を表明した。要約すれば、英國の戦争

スや国が提供する医療・社会保障の強化を掲げている。また、エネルギーや水道などの

ると、労働党政権が中道右派の保守党から国の方針性をここまで大きく変えるか興味深い。

新興市場や発展途上国では、一般的により厳しい現実に直面している。景気刺激策を講じるための限られた財務的能力や、コロナ危機や経済的打撃と格闘するために負った借入債務の繰り越しから、回復の遅れがしばしば際立つている。世界的には、デジタル化と持続可能性へのシフトが加速している。しかし世界経済の安定への歩みは、ロシア・ウクライナ戦争を含む地政学的緊張や、世界人口の約半数が今年の国

イギリスから(上)

政選挙に直面する主要国の中、政策転換を巡る不確実性をはらんでいる。

ロシア・ウクライナ戦争は、歐州に動揺をもたらし、さまざまな國や企業が対口制裁に關して独自の立場をとりながらも、ロシアとの貿易から撤退を決定した。ウクライナ侵攻に対し、英國は断固たる姿勢で臨み、さまざまな対口制裁を実施し、ウクライナに多大な軍事的かつ人道的な支援を行った。英國政府はロシアに対する資産凍結を課し、ロシ行はこうした混乱の結果、

イングランド銀行（中央銀  
行）はこうした混乱の結果、  
アの英國金融システムへのア  
クセスを制限した。  
これらは、英國にとって経  
済的に重大な意味を持つ。英  
国はロシアやウクライナと實  
質的な直接貿易関係はない  
が、戦争は既存の経済問題を悪  
化させた。最も顕著な影響  
のひとつはエネルギー価格で  
ある。加えて、戦争は世界の  
サプライチェーンをさらに緊  
張させ、各種の商品やサービス  
の価格に影響を及ぼしている。  
このように、ロシアの行動は、  
英國の経済に大きな影響を及ぼす  
可能性がある。

ステグフレーションが起きた。可能性について懸念を表明し、要約すれば、英國の戦争に対する対応は国際的な安全保障への関与を強調したものの、同時に、このような地政学的競争が露呈しうる経済的脆弱性(ゼイジヤクセイ)性をも浮き彫りにしたことになる。

英國は14年間におよぶ保守党政権に終止符を打ち、労働党を新政権に選出したばかりである。労働党は中道左派で、伝統的に公共部門と社会主義の理想を支持している。國家が直面する経済的制約を考え

た。エネルギー・水道などの公用事業や鉄道輸送の中央管理を強化しようとしている。政府資金を強化する手段として、税の抜け道の閉鎖に取り組むが、英國のブレギッシュ・コモンウェルスが正式な巨額離脱は2020年1月であり、まさに新型「ロナのまん延」と同時期だった。

【サイモン・ハスマム、リード・中産連】  
(月曜日に掲載)